



沼津市文化財 センター通信 Vol.5

2021年3月発行



文化財調査員 沼津市文化財センター
沼津市文化財センター (沼津市役所内)



伊豆の七不思議 大瀬崎の神池

市内西浦江梨にある大瀬崎は、井田から大瀬まで続く険しい崖から崩れ、駿河湾を流れる海流によって運ばれた石や砂が、細長く積み重なってできており、海に岬が突き出した特殊な形となっています。こうした地形は、その形が鳥の嘴のように見えることから「砂嘴」と呼ばれています。



大瀬崎（空撮）

この大瀬崎には、伊豆の七不思議に数えられる神池があります。神池は大瀬崎の先端にある淡水池で、周囲が海に囲まれているのに、池の水が真水という不思議な池です。大瀬崎の地盤は無数の丸い石からできていて、重なった石の間には隙間ができます。この隙間から海水が池に入ってきてしまうように思われますが、真水に比べて海水（塩水）は比重が大きいため、海水は池まで浸透してこないのではと考えられます。



伝説の
神池姫

また戸田の旧家には「神池姫」という想像上の生物の伝承が伝わっています。神池姫は体は魚、女性の顔をした人魚です。江戸時代にコレラという感染症が流行した時に現れて「徳のないものは3日で死んでしまう。助かりたければ姿を写さない」と伝えたとされ、実践した人には効き目があったとされます。大瀬崎の神池との関係は（勝呂家所蔵）明らかではありませんが、この神秘的な池にはもしかしたら神池姫がいるかもしれませんね・・・

大瀬崎のビャクシン樹林

ビャクシンは、イブキの別名で、ヒノキの仲間です。養分の少ない岩場などに生育している厳しい環境に強い植物です。大瀬崎には、樹齢数百年と言われるビャクシンの大木が多く生育し、昭和7年に国の天然記念物に指定されています。



大瀬崎の先端にある 御神木



トゲトゲした若木の葉



成長した柔らかい葉

ビャクシンは、若木の葉は棘のようですが、成長するとヒノキのような柔らかい葉に変化します。一つの木に二種類の形状の葉があることもあります。ビャクシンの仲間は、学校の周りにもよく植えられていますので、ぜひ見つけて葉の様子を観察してみてください。



みんなの学校にもこの葉に似た水があるか探してみよう！



防火訓練 第67回 文化財防火デー

令和3年1月23日(土)に天然記念物大瀬崎のビャクシン樹林で防火訓練が行われました。昭和24年1月26日に、奈良県の法隆寺が火災によって一部焼けてしまったことから、文化財を火災などの災害から守ることを目的として1月26日を「文化財防火デー」としたもので、沼津市では大瀬崎のビャクシン樹林において毎年1月下旬に防火訓練を行っています。



2022年1月の連続活動と放水訓練の様子

沼津の海と文化財

今年度は文化財通信 Vol.3~Vol.5 を通じて、沼津の海とかかわる文化財を紹介してきました。Vol.3 では「船」をテーマに旧石器時代の航海術と戦国時代の海賊の城である長浜城跡について、Vol.4 では奈良時代の水産加工と食事について、そして Vol.5 では大瀬崎の地形や天然記念物のビャクシン樹林について、それぞれ書いてあります。興味のある人は、沼津市のHPでも文化財通信を公開していますので、読み直してみてください♪



文化財 まちあるきマップ

まちあるきマップとは??

皆さんの住んでいる地区には昔から存在する古墳や石碑、お寺や神社など、多くの文化財があります。それらをより知ってもらう為に、おおよそ中学校区ごとにマップの作成を始めています。マップには現在目に見ることができる文化財の他に、地面の下に埋まっている遺跡も紹介しています。現地足を運んでみると、新しい発見があるかもしれません！今年度は金岡と浮島地区を作成しました。今後は市内全地区のマップ作成を順次予定しています！お楽しみに♪



また海に関連して、夏には長浜城跡で歴史散策と生き物観察を、牛臥海岸では丸木舟と現代のカヤックの乗り比べ体験を行いました。実際に参加された方の感想には、昔の人の生活等を追体験して、その大変さや面白さを肌で感じたという声がありました。文化財センターでは、今後も皆さんに五感で歴史を体感してもらえる体験イベントを行っていきます。**来年度のテーマは「山」です！！**ぜひ参加し、体験してみてください！！

沼津市文化財センター

展示室見学 平日9時00分から16時30分
(土・日曜日、祝日、年末年始はお休み)
見学無料
〒410-0106 静岡県沼津市志下530
TEL 055-935-5010 / FAX 055-933-1270
沼津市教育委員会文化振興課 文化財企画係・文化財調査係
E-mail cul-bunkazai@city.numazu.lg.jp

